

平成 31 年度

愛媛大学理学部
第2年次
編入学学生募集要項



愛媛大学理学部

目 次

1. 理学部に編入学を目指すみなさんへ	1
2. 募集人員	2
3. 編入学の時期及び編入学年次	2
4. 出願資格	2
5. 出願手続	3
(1) 出願期間	3
(2) 出願方法	3
(3) 出願書類等の請求及び提出先	3
(4) 出願に必要な書類等	3
(5) 検定料の返還	3
6. 学力試験等の日時及び場所等	4
(1) 学力試験等の日時	4
(2) 場 所	4
(3) 注意事項	4
7. 選抜方法	4
8. 学力試験等の配点	4
9. 学力試験等の出題範囲と採点・評価基準	5
(1) 専門科目の出題範囲	5
(2) 採点・評価基準	5
10. 合否判定基準	5
11. 合格者発表	5
12. 編入学確約書の提出	5
13. 入学手続	5
14. 編入学後の単位認定	5
15. 編入学後の履修コース	6
16. 初年度の諸経費	6
17. 注意事項	6
18. 正解・解答例又は出題意図の開示	6
19. 障がい等を有する入学志願者の出願	6
20. 入学試験個人成績の開示	7
21. 個人情報の取扱い	7
22. 学科の概要	8

※この募集要項の元号については、平成31年（2019年）5月1日に改元が予定されておりますが、新年号が公表されていないため「平成」で表記しています。

1. 理学部に編入学を目指すみなさんへ

私たちを魅了して止まない自然と生命の神秘—それを少しでも解き明かそうと人類は太古の昔から挑み続けてきました。目眩くばかりの千変万化を結ぶ一本の法則性，膨大な部分を統合する驚くべき合目的性，それらが明らかになればなるほど深まる神秘。神秘を明らかにしたい—それはもっとも高貴な人間的欲求です。その欲求は自然科学という学問研究として，人類の精神的，物質的幸福を追求するための不可欠の営みになっています。

愛媛大学理学部はその拠点の一つとして，未知なる世界を探究し，その知見を応用し，さらにその活動を引き継ぐ次世代の人材を育成しています。育成する人物像は，科学的知性，科学的解決力，科学する者の自覚の3つをしっかりと身につけて，科学で未来を切り拓く人です。そのために，次のような資質をもつみなさんに愛媛大学理学部への編入学を呼びかけています。

1. (学力の基盤) 大学初年次レベルの数学および自然科学を修めており，編入学以降の学士課程の理学を自律的に学ぶための用意が十分にできている。
2. (論理的思考力) 物事を論理的に考察し，自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
3. (科学に生きる意志) 社会，文化，地球環境保全のために科学・科学技術を役立てたいと志している。

愛媛大学理学部は，数学，物理学，化学，生物学，地球科学の科学5基幹分野各々に学科を擁し，上には大学院博士前期・後期課程を備えるフル装備の教育機関です。さらに，沿岸環境科学研究センター，地球深部ダイナミクス研究センター，プロテオサイエンスセンター，宇宙進化研究センター，学術支援センター，南予水産研究センター，防災情報研究センター等々，世界に新しい科学を発信する研究組織群が理学部と密な連携を組んでいます。しかも総合大学として，工学，農学，社会共創学，医学，教育学，法文学の各学部と教育・研究資源を共有し，まさに重層的な勉学研究環境を構成しています。きっと，あなたの向上心を満足させるでしょう。きっと，探求心に凜と張りつめたあなた自身を再発見することでしょう。

愛媛大学理学部に編入学して科学を究め，身に付けた科学を，自分のために，社会のために役立てようではありませんか。

2. 募集人員

学 科	募 集 人 員
数 学 科	各学科若干人
物 理 学 科	
化 学 科	
生 物 学 科	
地 球 学 科	

3. 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は平成31年4月1日とし、編入学の年次は、第2年次とします。

4. 出願資格

次のいずれかに該当する者としてします。

- ① 大学を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者
- ③ 高等専門学校を卒業した者又は平成31年3月までに卒業見込みの者
- ④ 修業年限4年以上の大学に1年以上在学（休学期間を除く。）し、31単位以上を修得している者又は平成31年3月までに修得見込みの者
ただし、本学在学中の者は除く。
- ⑤ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科（修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び平成31年3月に修了見込みの者（学校教育法90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑥ 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者又は平成31年3月までに修了見込みの者で、上記①②③④の各号の一に相当すると認められるもの
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上のものに限る。）を修了し、大学入学資格を有する者又は平成31年3月までに修了見込みで、大学入学資格を有する者

注) 1. 上記⑤⑥⑦により出願しようとする者は、出願資格の有無等の事前協議を行うので、平成30年9月7日（金）までに理学部入試係まで申し出てください。

2. 上記の①②③⑤⑥⑦の「卒業（修了）見込みの者」に該当する者が入学試験に合格した後（入学後も含む）に卒業（修了）できないことが明らかになった場合は、合格を取り消します。また、入学後に合格が取り消された場合でも、入学料は返還されません。

3. 上記④の「大学において31単位以上を平成31年3月までに修得見込みの者」が、入学試験に合格した後（入学後も含む）にこれらの単位を修得できないことが確定した場合は、合格を取り消します。また、入学後に合格が取り消された場合でも、入学料は返還されません。

5. 出願手続

(1) 出願期間

平成30年9月28日(金)～10月4日(木)〔10月4日(木)の消印有効〕

出願期間内に配達されたもの及び10月5日(金)以降に配達されたもののうち、10月4日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受け付けます。

(2) 出願方法

必ず本学部所定の出願用封筒を使用し、「速達・簡易書留郵便」で送付してください。
なお、直接持参しても受理しませんので注意してください。

(3) 出願書類等の請求及び提出先

愛媛大学理学部入試係

〒790-8577 松山市文京町3番

電話 089-927-9546

※ 出願書類等を請求する際は、志願者のあて先を明記し205円分の切手を貼った返信用封筒角形2号(33cm×24cm)を同封の上、封筒に「第2年次編入学出願書類等請求」と朱書してください。

(4) 出願に必要な書類等

- ① 入学志願票(本学所定の用紙に必要事項を記入したもの)
- ② 出身学校の卒業証明書又は卒業見込証明書(出願資格①, ②, ③, ⑤, ⑥又は⑦に該当する者)
- ③ 出身学校の成績証明書(平成31年3月までに修得見込みの科目については、評価の欄に印を付したもの)※成績証明書に修得見込み科目が表示されない場合は履修中の科目が分かるもの(履修証明書・時間割等)を成績証明書と一緒に必ず送付してください。
- ④ 出願資格④に該当する者は、所属大学が発行する在学期間証明書(本学所定の用紙)
- ⑤ 在職中の者は、所属長の出願承諾書(本学所定の用紙)
- ⑥ 写真2枚(上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの、白黒又はカラー、縦4cm×横3cm)を写真票及び受験票の所定欄に貼ってください。
- ⑦ 検定料払込証明書(検定料30,000円を最寄りの郵便局又はゆうちょ銀行の窓口(他の金融機関からの振込みはできません。)から払込後(ATMは使用しないでください。),日附印を押した「振替払込受付証明書(大学提出用)」を「検定料払込証明書」に貼って提出してください。なお、払込済の検定料は⑤の返還請求ができる場合を除き、返還しません。)
- ⑧ 志願者名票(本学所定の用紙に、志願者の住所、氏名等の必要事項を記入したもの)
- ⑨ 返信用封筒(本学所定の封筒に、志願者のあて先を明記(必ず郵便番号を記入すること)し、372円分の切手(速達)を貼ったもの。)

(5) 検定料の返還

次に該当した場合は、納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合

【返還請求の方法】

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577 松山市道後樋又10番13号 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム 電話 089-927-9074,9077 Eメール suitou@stu.ehime-u.ac.jp
--

6. 学力試験等の日時及び場所等

(1) 学力試験等の日時

平成30年10月20日(土)

学 科	試 験 科 目 及 び 時 間	
数 学 科	数 学 10:30 ~ 12:10	面 接 13:10 ~
物 理 学 科	物 理 学 10:30 ~ 12:10	
化 学 科	化 学 10:30 ~ 12:10	
生 物 学 科	生 物 学 10:30 ~ 12:10	
地 球 学 科	地 球 学 科 10:30 ~ 12:10	

(2) 場 所

愛媛大学理学部 松山市文京町2番5号

(3) 注意事項

- ① 試験開始20分前までに試験室に入室してください。なお、遅刻限度時刻は試験開始後30分とします。
- ② 試験場所等の詳細は、試験当日、理学部本館玄関前の掲示で確認してください。
- ③ 受験者は、本学が交付した受験票を必ず携帯してください。

7. 選 抜 方 法

学力試験及び面接の結果並びに出身学校における成績証明書等の書類により、合否判定基準に基づき判定します。

8. 学力試験等の配点

学 科	試験科目	専門科目	面 接	書類審査	計
数 学 科		(数 学) 200	100	100	400
物 理 学 科		(物 理 学) 200	100	100	400
化 学 科		(化 学) 200	100	100	400
生 物 学 科		(生 物 学) 200	100	100	400
地 球 学 科		(地球科学) 200	100	100	400

9. 学力試験等の出題範囲と採点・評価基準

(1) 専門科目の出題範囲

専門科目	出題範囲
数 学	微積分（1変数関数に限る。）及び線形代数（ベクトル，行列（連立1次方程式を含む。），行列式）
物 理 学	高校物理程度の問題
化 学	高校化学程度の問題
生 物 学	高校生物程度の問題
地 球 科 学	高校地学程度の問題

(2) 採点・評価基準

教 科 等	採点・評価基準（一般的基準）
筆 記 試 験	本学部各学科の2年次以降の学修に対応できるよう，専門科目の基礎学力について評価する。
面 接	目的意識，勉学意欲，基礎的知識，理解力，創造力などについて総合的に評価する。
書 類 審 査	出身学校における単位の修得状況及び成績について総合的に評価する。

10. 合否判定基準

- (1) 総合点で合否を判定する。
- (2) 同点者は，同順位とする。

11. 合格者発表

平成30年11月1日(木)午前10時に，理学部本館玄関前に受験番号で合格者を発表するとともに，受験者に合否結果の通知を送付します。

(注) 電話等による合否結果の照会には一切応じません。

12. 編入学確約書の提出

編入学試験の合格通知を受けた者は，本人及び保証人が連署した『編入学確約書』を平成30年11月16日(金)までに提出しなければなりません。

なお，期日までに提出されない場合は，辞退したものとして取り扱います。

13. 入学手続

入学手続については，編入学確約書提出者に対して，平成31年3月に改めて通知します。

14. 編入学後の単位認定

編入学者が出身学校で修得した単位は，審査を経て，科目の講義内容に応じて，本学理学部の科目の単位として認定されます。

なお，出身学校で修得した単位がすべて認定されるわけではありません。

また，これらの認定単位数を含め，3年次終了時まで本学部で定める単位数（卒業研究履修要件）を修得できなかった場合は，4か年以上の修業年数が必要になります。

15. 編入学後の履修コース

理学部の履修コースには、5つの基本分野に対応した6つの主コース（数学、物理学、宇宙物理学、化学、生物学、地球科学）と他分野との境界領域も意識して学ぶことができる4つの複合コース（数物理学、物性科学、生物化学、生態環境科学）があり、それぞれのコースの学習目標に応じたカリキュラムが用意されています。

編入学後の履修コースは、原則として入学した学科の主コース（宇宙物理学コースは除く。）となります。ただし、複合コース及び宇宙物理学コースの定員に空きがある場合はその限りではありません。

16. 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。入学料及び授業料の額は平成30年度納付額であり、平成31年度は改定になる場合があります。

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分:267,900円 後期分:267,900円）

その他 58,620円（理学部後援会費、理学部同窓会費、校友会費、学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険）

合 計 876,420円

※ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改訂後の授業料を適用します。

17. 注 意 事 項

- (1) 入学志願票の記載事項及び提出書類に不備があるものは、受け付けません。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記載事項及び書類の変更は認めません。また、出願書類は返却しません。
- (3) 出願時に虚偽の記載があった者は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

18. 正解・解答例又は出題意図の開示

本学部では、平成31年度第2年次編入学試験の正解・解答例又は出題意図の開示を、次のとおり行います。希望者は、期間内に申し込んでください。

請求期間：平成30年12月3日（月）～平成30年12月10日（月）

原則として郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。

請求方法：92円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封し、「2年次〇〇学科の〇〇（試験科目名）の正解・解答例又は出題意図の開示請求」と朱書の上、理学部入試係へ請求してください。

19. 障がい等を有する入学志願者の出願

障がい等を有する入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合は、出願の前に、本学部に事前相談を行ってください。

(1) 事前相談の方法

受験上配慮申請書（愛媛大学ホームページよりダウンロード）と医師の診断書（写しでも可）又は身体障害者手帳の写しなどで障がい等の状況が確認できるものを提出してください。

必要な場合は、志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。

- 受験上配慮申請書 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/outline/download/>) よりダウンロード

(注) 相談は障がい等を有する志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験にあたってより良い方法や在り方を模索するためのもので、障がい等を有する方の受験や修学を制限するものではありません。

(2) 書類提出締切日 原則として平成30年9月7日(金)

20. 入学試験個人成績の開示

本学部では、第2年次編入学試験の個人成績を、受験者本人に限って、次のとおり開示します。希望者は、期間内に申し込んでください。

請求者：受験者本人に限ります。(代理人は不可)

請求期間：平成31年5月1日(水)～平成31年5月31日(金)

郵送による請求のみとし、この期間内の消印があるものに限り受け付けます。

請求方法：書面(記入例参照)により、平成31年度愛媛大学受験票と返信用封筒(長形3号12cm×23.5cm, 自己のあて先を明記し、402円分の切手を貼ったもの)を同封して、理学部入試係に請求してください。

開示方法：理学部入試係に到着後、2週間程度で受験者本人あてに、郵送された受験票とともに簡易書留郵便で送付します。

(請求書面記入例)

平成31年 5月 日
愛媛大学理学部長殿
請求者氏名 _____ 印
受験番号 _____
連絡先電話 _____ - _____
第2年次編入学試験個人成績開示請求書
平成31年度第2年次編入学試験の個人成績を開示請求します。

21. 個人情報の取扱い

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

22. 学科の概要

<数学科>

数学科では、代数学、幾何学、位相数学、解析学、応用数学、確率・統計数学、情報科学（コンピュータサイエンス）などの数学のさまざまな分野の教育・研究を行っています。

数学は、数学自身がおもつ合理性と美しさを探求する純粋理論としての側面と、応用として諸科学の理論的基礎付けを行うという基礎科学としての側面をもっています。そして、長い歴史の中で、それらが互いに連動しあって壮大な理論体系を築いてきました。現在は、コンピュータの著しい発展により、後者の側面をもった数学がいつそう意識されています。

本学科では、精緻で美しい数学の体系と情報科学の学習を通して、思考力と応用力に富む視野の広い学生を育てることを目標にしています。この実現のため、専門のカリキュラムには次のような特色を持たせています。

- ① 1・2年次では、数学の基礎的部分を学び、講義と演習を有機的に活用して、理論的で厳密な推論や抽象的な考え方に慣れます。
- ② 2・3年次では、純粋数学・応用数学・情報科学の多くの数学体系を学習し、数学の世界の広がりを楽しむとともに、4年次で専攻する分野を決めます。
- ③ 少人数クラスによるセミナー形式の授業が、3年次に設けられています。この授業では、学力を確認し、課題に取り組み、その結果のまとめ方や発表の仕方について学習して、自信をつけます。皆さんの能力を自分で見つけ出していけるようにサポートします。
- ④ 最終学年では、各分野の専門ごとに数名の小グループに分かれて、いわゆる卒業ゼミを教員の個別指導のもとに行い勉強の総仕上げをします。談話会やセミナーに出席するなど、最先端の研究に触れることもできます。

<物理学科>

物理学は現代の科学・技術とともに発展し、その基礎となっている学問の分野です。そのような学問を学ぶには、基礎的な部分をよく理解することが重要です。そのためにカリキュラムは2年次までは、物理学の中でも基礎となる力学、電磁気学、熱力学・統計力学、量子論（現代物理学の一部）を十分に時間をかけて勉強できるように工夫されています。3年次からは、これらの科目のさらに上級コースの授業はもちろんですが、応用科目の授業も始まります。応用の範囲は小さいスケールでは素粒子から、大きいスケールでは宇宙全体まで自然界のすべてのスケールにわたっています。これは愛媛大学物理学科の特徴でもあります。このような基礎と応用を学んだ後、4年次では各研究室に所属して、少人数でより専門的な勉強をしつつ、先端研究に取り組みます。

<化学科>

化学科では、電子、原子、分子のレベルで「物質」の性質や変化を明らかにしたり、新しい「物質」を作り出す事により、社会に大きく貢献しています。学生の皆さんは、化学

を通して1年次から教員と交流の機会を多く持ち、基礎となる分野の見識を高め、4年次では、「有機化学」、「固体物理化学」、「構造化学」、「分析化学」、「無機化学」、「複合体化学」、「生物化学」、「分子機能化学」、「環境化学」の9研究室の一つに所属し、各人がそれぞれの研究テーマで本格的に専門に取り組みます。又4年次には、セミナーや講読会において、教員や大学院生との討論により専門知識を身につけ、学識と創造力豊かな人間への成長をめざします。化学科においては、研究対象や研究方法は多彩であり、各人の能力や適性に合った研究分野を容易に見つけることができます。

<生物学科>

生物学科では、生物の営みと生命の神秘を探究し、生物と環境の調和を考慮しながら、社会に貢献できるような幅広い視野と多様な専門的知識・スキルをもつ人材の養成をめざします。そのために教育内容にも特色をもたせています。2年次から、生物学、生物化学、生態環境科学の3コースにわかれ専門科目を体系的に学びます。野外での実習や生物学実験を通じて調査や実験の基礎も身につけます。3・4年次には課題研究や卒業研究を行います。卒業後は全国の一般企業や官庁等に就職する人、教員になる人、本学や他大学の大学院へ進学する人がいます。本学科には分子・細胞から生態・環境レベルまで様々な研究分野があり、植物細胞の構造と機能、植物の成長生理、動物の発生と生殖、動物の行動と神経機能、遺伝と進化、脊椎動物神経系の進化、水界生物の生態と進化、実験進化などを研究しています。環境調査に関する社会貢献も他機関と連携して活発に行っています。

<地球科学科>

地球科学科は、固体地球～流体地球を対象として、地球の内部構造に関する実験や数値シミュレーション、地球や隕石を構成する岩石・鉱物の物質進化、造山運動などの地殻変動、海洋循環の力学過程、古生物の進化や古生態および様々な地質時代のグローバルな地球環境変動などの基礎地球科学に関する教育・研究を行っています。また、応用地球科学分野として、斜面・地震災害や植物を利用した環境浄化に関する教育・研究も行っています。

本学科では、教育カリキュラムを通して、地球を対象とした高度な専門知識や技能を修得した人材を養成することを目指しています。卒業生は、“ジオドクター（地球のお医者さん）”と呼ばれる技術者として地質・建設コンサルタントや、中学校・高等学校教員、公務員、一般企業に就職します。また、大学院へ進学し、更に研究を継続して研究者を目指す人も少なくありません。